



将来展望ワークショップ

2009/2/16(月)

13:00 ~ 17:00
(途中休憩有り)
理学部 D501

第Ⅰ部 基調講演「Career Dynamics Design: 夢を創める」

大学教育実践センター・木川田一榮 教授

第Ⅱ部 ゲストスピーカー講演

第Ⅲ部 ゲストスピーカーとのフリーディスカッション・懇親会

入場無料

ソフトドリンク
+スナック

＜基調講演・概要＞

世界経済が未曾有の嵐となっている今日、学生である現時点から、みなさんの「生き方や在り方」に関わるキャリアという概念をダイナミックに考えて、近い将来の知識社会への船出に備えていくことは非常に重要なことです。みなさんが、社会人・職業人（プロフェッショナル）として、どのような人間的資質や基本的能力を高めていったらよいのかを、自らデザインしていく力を身につけていくことは、学生生活をより有意義なものにしていくことになります。日欧米の実践事例から、みなさんにとってのキャリアという概念と実践を共に考えてみましょう。

＜ゲストスピーカー紹介・講演タイトル＞

若槻 聡（助教）

金沢大学大学院自然科学研究科

講演タイトル「研究者を目指した私の動機について」

西中崇博（博士課程1年）

大阪大学大学院物理学専攻

講演タイトル「現代サイエンスの最先端を目指して」

松田 靖弘（助教）

静岡大学工学部物質工学科

講演タイトル「大阪大学で学んだもの・恩師の言葉」

吉野 恵子（准教授）

大阪大学大学院生命機能研究科

講演タイトル「仮」

山形 敦史（助教）

東京大学分子細胞生物学研究所

講演タイトル：「海外ポスドクの経験から」

＜木川田 一榮（きかわだ かずえ）教授 ご経歴＞

大学教育実践センター 教授、キャリア教育支援部門長。

1971年早稲田大学第一法学部卒業後、富士ゼロックス入社。

米国モンレー・インスティテュート国際経営学大学院（留学）。

KDI（ナレッジ ダイナミクス イニシアティブ）パートナーを経て、

2007年から現職。

専門分野は、知識創造経営学、ナレッジマネジメント、キャリアダイナミクスデザイン。趣味は、洛北での静謐な花鳥風月の暮らし。

ハーレーダビッドソンで洛中洛外を爆走すること。

隠居名、遊美亭 洛沈（あそびてえ らくちん）



文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」
「知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム」

事務局（理 G509・内線 5415）篠原、中村（学務）、三上（事務補佐）

第2回 将来展望ワークショップ

日時：2009年10月31日（土）13：00～17：30 頃
理学部H棟7階 大セミナールーム

スケジュール

第1部 (13:00～) 基調講演「国家公務員という職業を例にした理学部生の将来展望」

石貝剛氏（人事院）1982年 阪大理 修士修了（物理）

第2部 (14:30頃～) スピーカー講演・質疑応答

松永千聡氏（DeNA）2008年 阪大理 修士修了（数学）

「就職活動を通して発見した自分のトンガリ」

下方早苗氏（旭化成せんい）1986年 阪大理 修士修了（高分子）

「これから社会人となられる方へ」

古屋晶子氏（読売新聞社）1992年 阪大理（生物科学）卒、経済学修士

「私の経歴書」

小西邦和氏（兵庫県立柏原高校）1980年 阪大理 修士修了（化学）

「高校と大学の狭間で」

第3部 (16:00頃～) スピーカーと学生のフリーディスカッション

(H棟2階 コミュニケーションスペース)

教育 GP「知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム」について

対象：理学部学部生

期間：平成20年11月～平成23年3月（以降継続）

WEB：<http://gp.sci.osaka-u.ac.jp>

大阪大学理学部では、理学ベーシックを重視した「理学ミニマムカリキュラム」（特色GP）を新設するなど、教育カリキュラム上では質の高い教育を保証する枠組みは整備されてきています。

しかし、現状では、受動的な学習態度が克服できていない学生が少なくなく、幅広い視野に立って将来展望を能動的に描き、高いモチベーションを持って学ぶという、学生の「意識の質の向上」が必要とされています。本プログラムは、以下の3種の取組により、従来の教育カリキュラム等では対応が困難なこの課題に挑戦するものです。

- (A) 「理学ミニマムカリキュラム」と専門教育科目をつなぐ科目や実験・実習・演習など、能動性を高める科目「専門へのステップアップ教育」の実施
- (B) 学生を主体とした知的能動性を高める取組「能動的学生啓発プログラム」の実施
- (C) 社会や先端研究を意識させ、能動的に将来展望を描かせる「キャリアパスデザイン教育」の導入

第3回 将来展望ワークショップ

知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム（文部科学省 教育 GP 採択プログラム）

12/4（土）

13:00 ~ 18:00

理学部 D501

大学院ってどんなところ？

研究とか就職ってどういうもの？

高校の先生になりたいけど、
どうすればいい？

ヒントはワークショップで。

主催 教育 GP 実施委員会 <http://gp.sci.osaka-u.ac.jp>

プログラム

第1部 基調講演 13:10 ~ 14:10

「大学院進学とは」 西川 拓 氏
（毎日新聞社科学環境部・『理系白書』現キャップ）

第2部 パネルディスカッション 14:30 ~ 16:30

テーマ 「大学院進学とは」
「なぜその道を選んだのか？」
「外から見た阪大（理学部）生像」
「理学部が社会から期待されること」など

第3部 フリーディスカッション 16:50 ~ 18:00

西川氏とパネラーと学生による、少人数の討論・懇親会

西川 拓 氏プロフィール：

西宮市出身。東北大学大学院にて、火星探査機「のぞみ」に搭載された観測機器の開発に携わるが、主に宴会役として存在感を発揮した。1993年毎日新聞社入社。福岡、佐世保、小倉での勤務を経て、2003年より科学環境部に配属。文部科学省を2年担当し、科学行政や理系人材育成政策を取材した。就職セミナーや学会で学生・院生の相談を受けている。タイガースと酒をこよなく愛す。

パネラー（卒業生）

木村 昌太朗 氏（富士火災海上保険株式会社）数学科 OB
アクチュアリーという仕事についてお話しさせていただきます。
学生の皆様が将来像を描く一助になればと思います。

筒井 和幸 氏（大阪教育大学附属高等学校池田校舎）物理学科 OB
物理教育を実践しながら研究もしています。
教育に関心のある人と議論できるのを楽しみにしています。

丸山 由紀子 氏（ルネサスエレクトロニクス株式会社）物理学科 OG
エンジニアとして、17年。子供はちょうど6歳。
ごく普通の会社生活ですが、少しでも参考になれば。

瀬野 賢一 氏（住友化学株式会社）化学科 OB
博士号取得後、総合化学メーカーへ。
大学院って何？博士って何？っていう方、大歓迎です。

桜井 由美 氏（フリーランス翻訳業）生物科学科 OG
『理系白書』をよく読んでいました。今回、お声をかけて頂いた時は、
私で良いの？とも思いましたが、何かお役に立てれば嬉しいです。

パネラー（教員）

佐藤 尚弘 教授（化学科）・高橋 篤史 准教授（数学科）

あなたの？を聞いてみよう 西川氏やパネラーへの質問を、ポスター隣のポストへ投函して下さい

？



場所 理学部 D501

1 基調講演 吉田 耕治 先生 『夢が人生をつくる』 13:05 ～ 13:50
大阪大学産学連携本部 イノベーション部
イノベーション人材育成部門<CLIC> 特任教授

ok

休 憩 13:50 ~ 14:00

2 理学部OBOGからのメッセージ

1) 堀 稔一 氏 (物理学科OB) 『半導体エンジニアの仕事』 14:00 ~ 14:30
ルネサスモバイル株式会社 モバイルマルチメディア事業本部
SoC 事業部 モバイル SoC 設計第一部 設計第三課

2) 上野 博之 氏 (生物科学科OB) 『新たな仕事を創りませんか?』 14:30 ~ 15:00
大日本住友製薬株式会社 薬理研究所薬理第2研究部
癌免疫第1グループ

3) 永田 浩一郎 氏 (物理学科OB) 15:00 ~ 15:30
『大学、会社でのターニングポイントを振り返って』
(株)日立製作所 日立研究所モータシステム研究部MS1ユニット
ユニットリーダー主任研究員

休 憩 15:30 ~ 15:40

4) 大前 裕佳 氏 (数学科OG) 15:40 ～ 16:10
『学生生活を振り返って～後悔しない選択とは』
大阪府立北野高等学校 数学科 教員

5) 所のぞみ 氏 (化学科OG) 『段ボールと化学と私』 16:10 ~ 16:40
レンゴー(株) 中央研究所 段ボール研究グループ

6) 古川 武 氏 (物理学科OB) 『落ちこぼれ学生の研究奮闘記』 16:40 ~ 17:10
 首都大学東京 理工学研究科 物理学専攻 助教

7) 総合討論 17:10 ~ 17:30

3 懇親会 ～ゲストスピーカーを囲んで～ D403会場にて 17:30 ～ 18:30

※ どなたでもご自由にご参加ください。

問い合わせ先 理学部プロジェクト事務局 H609
TEL 06-6850-6728



第5回 将来展望ワークショップ プログラム

日時 平成24年10月20日(土)
開場受付12:30～ 開演 13:00-18:30
場所 基礎工学部Σホール 他

開会の辞 知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム 13:00 ～ 13:05
総括責任者 篠原 厚

1 理学部OB&OGからのメッセージ シグマホール

1) 山田 薫 氏(物理学科OB) 名古屋市立向陽高等学校 物理教員 13:05 ～ 13:35

『学部、修士、博士、そして高校教師へ ～その過程と現在～』

研究職か高校教師になるか迷っている人はぜひ。教師になるまでの経緯から教師になった今の事をお話します。

2) 兼崎 琢磨 氏(生物科学科OB) カールツァイスマイクロスコピー株式会社 13:35 ～ 14:05
マーケティング・サポート部門

『科学者としてのビジネス』

阪大で博士号をとりました。光学機器メーカーの一民間社会人の視点から大学の研究と関わる方法についてご紹介します。

3) 庄司 光男 氏(化学科OB) 筑波大学数理物質科学研究科 物 14:05 ～ 14:35
理専攻 助教

『アカデミックキャリアの目指し方』

アカデミックポストを獲得する方法とは?求められる人材とは?ポストドク、大学教員について詳しくお話します。

休 憩 14:35～14:50

4) 関 正英 氏(数学科OB) 香川県立三木高等学校 数学教員 14:50 ～ 15:20

『「生徒」がみる学校と「先生」がみる学校』

6年前私は「生徒」から「先生」になりました。今思うことを正直に話したいと思います。

5) 下浦 美那 氏(物理学科OG) 株式会社IHIエアロスペース 基盤 15:20 ～ 15:50
技術部

『物理学科からロケットメーカーへ』

入社経緯、仕事内容、大学院までの勉強が今どんなところで役に立っているかについてお話ししたいと思います。

6) 近藤 直幸 氏(生物科学科OB) 関西医科大学生命医学研究所分子 15:50 ～ 16:20
遺伝学部門 助教

『日中米サバイバル研究日記』

アカデミアで生きる研究者の一例を今までの自身の経験を交えてご紹介できたらと思います。

休 憩 16:20～16:30

2 ゲストとのパネルディスカッション シグマホール 16:30 ～ 17:00

『自分の進路が決まったきっかけとは?』

移 動 17:00～17:15

3 懇親会 ～ゲストスピーカーを囲んで～ 17:15 ～ 18:30

H棟2F コミュニケーションスペース

※ どなたでもご自由にご参加ください。

問い合わせ先 理学部プロジェクト事務局 C203
TEL: 06-6850-5929



第6回 将来展望ワークショップ プログラム

日時 平成25年11月23日(土)
開場受付12:30～ 開演 13:00-19:00
場所 豊中キャンパス Σホール 他

開会の辞 知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム 13:00 ～ 13:05
総括責任者 篠原 厚

1 理学部OB&OGからのメッセージ シグマホール

1) 的場 俊昭 氏(数学科OB) 大阪府立天王寺高等学校 数学教員 13:05 ～ 13:35

『教師はこんなにも感動できる仕事』

数学、部活(ソフトテニス)、日々の指導。世間には大変と言われま
すが、それ以上の感動・やりがいがあることを伝えます。

2) 北澤 田鶴子 氏(物理学科OG) シャープ(株) 研究開発本部 13:35 ～ 14:05

『企業と大学を往復して』

学生・社会人の両面からみた大学と企業について、社会人ドクターの
経験も含めてお話しします。

3) 谷本 明佳 氏(物理学科OG) (株)日立製作所中央研究所
ナノプロセス研究部 14:05 ～ 14:35

『働くということー自分らしい自分をめざしてー』

私自身の学生時代や企業の研究所での十数年を振り返りながら、働く
ことの魅力をお伝えしたいと思います。

休 憩 14:35～14:50

4) 東松 逸朗 氏(化学科OB) ヘンケルジャパン(株)
接着剤研究部門 14:50 ～ 15:20

『どうしてこうなった!?!』

博士課程に行きました!海外生活しました!外資で働きました!行き
当たりばったりの経歴を皆さんと一緒に反省をかねて振り返ります。

5) 川田 友紀 氏(化学科OG) 産業技術総合研究所
ナノシステム研究部門 15:20 ～ 15:50

『私にとってのワークライフバランス』

就職、結婚、出産を経て、パート、子育てしながら大学院ドクターを
目指しています。これらの経験が皆さんの参考になれば嬉しいです。

6) 松井 啓祐 氏(生物科学科OB) サントリーグローバルイノベーション
センター(株)研究部 15:50 ～ 16:20

『RPG的研究スタイル』

スキルを磨き、経験を積んで未知なる現象と対峙する「研究」は、ど
こかRPGと似ていると思いませんか?そのような観点から私の歩みを振
り返ってみます。

休 憩 16:20～16:30

2 ゲストとのパネルディスカッション シグマホール 16:30 ～ 17:30
『阪大理学部の強み』

移 動 17:30～17:45

3 懇親会 ～ゲストスピーカーを囲んで～ 17:45 ～ 19:00

理学部H棟2F コミュニケーションスペース

※ どなたでもご自由にご参加ください。

問い合わせ先 理学部プロジェクト事務局 C203
TEL: 06-6850-5929

第7回 将来展望ワークショップ プログラム

日時 平成26年10月18日(土)

開場受付 12:30～ 開演 13:00

場所 豊中キャンパス 基礎工学部国際棟(Σホール) 他

開会の辞 知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム 13:00 ～ 13:05
総括責任者 篠原 厚

1 理学部OB&OGからのメッセージ 基礎工学部国際棟(シグマホール)

1) 藏田 清文 氏(物理学科OB) 高知大学医学部学士編入 13:05 ～ 13:35

『世界を変える力ってなに?』

自分にうそをついてない?他人の価値観で自分を判断していない?自分がアツくなれるものを信じよう、自分の可能性を信じよう!

2) 加藤 恵理 氏(物理学科OG) 宇宙航空開発機構 第一衛星利用ミッション本部 先進衛星技術開発室 13:35 ～ 14:05

『いつでもアンテナを広げて』

学生時代に考えていたこと、経験したことなどを振り返りながら、現在の仕事(地球観測衛星のセンサ開発)に至るまでをお話したいと思います。

3) 宮内 雅彦 氏(化学科OB) (株)カネカ 先端材料開発研究所 14:05 ～ 14:35

『研究室で学んだ経験を活かして』

現在まで取り組んできた宇宙用材料開発を例に、大学院で築いた研究スタイルや人のつながりの大切さを含めてご紹介いたします。

休憩 14:35～14:50

4) 福井 健二 氏(生物科学科OB) 大阪医科大学 生化学教室 14:50 ～ 15:20

『サイエンスは好きですか?』

独法研究機関、民間企業、大学を渡り歩きました。サイエンス好きならどこで研究しても楽しめると思いました。

5) 南 嘉博 氏(数学科OB) 日本生命保険相互会社 15:20 ～ 15:50

『仕事を通じて教えて貰ったこと』

仕事で迷ったときに判断の糧となっていることをアクチュアリーとしての経験をもとにお伝えします。

6) 平地 健吾 氏(数学科OB) 東京大学大学院数理科学研究科 15:50 ～ 16:20

『数学者という職業』

次々と発見があれば数学者ほど楽しい仕事はないと思う。うまくいかないときはどうすればよいのかを考えます。

休憩 16:20～16:30

2 ゲストとのパネルディスカッション 基礎工学部国際棟(シグマホール) 16:30 ～ 17:30

『学生時代にしておいて良かったこと』

移動 17:30～17:45

3 懇親会 ～ゲストスピーカーを囲んで～ 理学部H棟2F コミュニケーションスペース 17:45 ～ 19:00

※どなたでもご自由にご参加ください。

メンバー募集中!

将来展望ワークショップは「能動性プログラム懇談会」の学生メンバーが主体となって開催しています。一緒に企画・運営をしませんか?興味を持たれた方、下記メールアドレスまでご連絡お待ちしております!

「能動性プログラム懇談会」では理学部の授業や学生生活をより充実させるために学生と教員が定期的に話し合う機会を設けています。

知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム
責任者 篠原 厚(理学研究科 教授)
問い合わせ先: 理学部プロジェクト事務局
理学部C棟2F C203 TEL 06-6850-5929
noudousei@sci.osaka-u.ac.jp



第8回 将来展望ワークショップ プログラム

日時 平成27年10月17日(土)

開場受付 12:30～ 開演 13:00

場所 豊中キャンパス 基礎工学国際棟(Σホール)他

開会の辞 知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム 13:00 ～ 13:05
総括責任者 篠原 厚

1 理学部・理学研究科OB&OGからのメッセージ 基礎工学部国際棟(シグマホール)

1) 神前 喬 氏(物理) 大阪府立茨木高等学校 13:05 ～ 13:35

『自分や周囲の変化を恐れずに生きる』

「憧れの業界、やりたい仕事」と「知っている業界、できる仕事」どちらも、「苦にならな」ければ続けていくことができます。いま、できることは「知ること」「深めること」「広げること」そして「耐えること」

2) 小泉 正信 氏(物理) 株式会社 想実企画 13:35 ～ 14:05

『自分の人生を生きることと世界への貢献』

自分に対するリーダーシップを発揮して自分の人生を歩みましょう。
自分らしく世界に貢献していきましょう。

3) 古田 かおり 氏(生物科学) 奈良先端科学技術大学院大学 14:05 ～ 14:35

『ある理系ママの綱渡り研究生活』

海外での研究・出産・育児の経験と、我が家のすごいイクメン夫から、研究と育児の両立について考えます。

休 憩 14:35～14:50

4) 明石 克巳 氏(化学) eBASE株式会社 14:50 ～ 15:20

『大企業での働き方、ベンチャーでの働き方』

大企業⇒外資系企業⇒ベンチャーと3社を渡ってきた中で、大学で学んだ事が役に立ったのかどうか、考察します。

5) 織田 ゆかり 氏(化学) 九州大学大学院工学研究院 15:20 ～ 15:50

『大学で夢を見つけよう』

私は大学院へ進学してから将来の夢を見つけました。大学・大学院で学んだことや培った価値観は、今も迷ったときの判断基準です。

6) 足立 智子 氏(数学) 東邦大学理学部情報科学科 15:50 ～ 16:20

『仕事を通じて学んだこと』

学生の際は研究は楽しいばかりでしたが、仕事となるとそうはいきません。仕事を通じて学んだことをお伝えします。

休 憩 16:20～16:30

2 フリーディスカッション 基礎工学部国際棟(シグマホール) 16:30 ～ 17:00

移 動 17:00～17:15

3 交流会 ～ゲストスピーカーを囲んで～ 理学部H棟2Fコミュニケーションスペース 17:15 ～ 19:00
※どなたでもご自由にご参加ください。

知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム
責任者 篠原 厚(理学研究科 教授)
問い合わせ先: 理学部プロジェクト事務局
理学部C棟2F C203 TEL 06-6850-5929
noudousei@sci.osaka-u.ac.jp



第9回 将来展望ワークショップ プログラム ～海外へ出るべきか～

日時 平成28年10月22日（土）

開場 12:30 開演 13:00

場所 豊中キャンパス 基礎工学国際棟（Σホール）

開会の辞 知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム 13:00 ～ 13:05
総括責任者 篠原 厚 先生

1 ゲストからのメッセージ 基礎工学国際棟（Σホール）

1) 和田 昌昭 氏 大阪大学大学院 情報科学研究科 13:05 ～ 13:25

『アメリカで学び教えてみて思うこと』

アメリカに2年半留学し、その後5年間アメリカで大学教員をした経験について、思うことなどお話しします。

2) 中村 優子 氏 P&G 研究開発本部 13:25 ～ 13:45

『世界の消費者の生活をより良くするために』

世界最大の消費財メーカーP&Gで、ファブリーズやパンテーン、SK-IIなどを生み出してきた、グローバルに展開する研究開発と人材育成について

3) 田浦 大輔 氏 名古屋大学大学院 工学研究科 13:45 ～ 14:05

『過去・現在・未来～留学して得たもの・得るもの～』

QS World University Rankingsで第9位のスイス連邦工科大学チューリッヒ校（ETH Zurich）に留学して学んだことや感じたことをお話しします。

休 憩 14:05～14:15

4) 甲斐 歳恵 氏 大阪大学大学院 生命機能研究科 14:15 ～ 14:35

『日本で&海外で研究者になる方法』

Think globally, act locally：ボーダレスな研究社会を生き抜くために必要なこと

5) 長峯 健太郎 氏 大阪大学大学院 理学研究科 14:35 ～ 14:55

『大学院から海外へいくこと、プリンストンについて』

自身の経験をもとに、学生の皆さんが知りたいと思うことをアドリブで話します。

休 憩 14:55～15:05

2 フリーディスカッション 基礎工学国際棟（Σホール） 15:05 ～ 16:05

3 交流会 ～ゲストスピーカーを囲んで基礎工学国際棟（ホワイエ） 16:05 ～ 17:00 ※どなたでもご自由にご参加ください。

知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム
責任者 篠原 厚 (理学研究科 教授)
問い合わせ先：理学部プロジェクト事務局
理学部C棟2F C203 TEL 06-6850-5929
noudousei@sci.osaka-u.ac.jp



第10回 将来展望ワークショップ プログラム ～研究者のキャリアパス～

日時 平成29年11月11日（土）
開場 12:30 開演 13:00
場所 豊中キャンパス 理学J棟2階 南部陽一郎ホール

開会の辞 知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム 13:00 ～ 13:05
総括責任者 篠原 厚 先生

1 ゲストからのメッセージ 南部陽一郎ホール

1) 山本 亮太 氏 JSR株式会社 13:05 ～ 13:25

『大学で得たもの、社会人で必要となったもの』
化学メーカーの会社員として、学部・大学院のどのような経験が今役立っているか、お話しします。

2) 那須 翔太 氏 株式会社本田技術研究所 13:25 ～ 13:45

『博士で得た武器と自動運転開発』
博士号取得から現在の自動運転開発に至る過程を、学生時代に得た力がどう活かしているかを軸に振り返ります。

休 憩 (10分) 13:45～13:55

3) 鎌田 寛子氏 武田薬品工業株式会社 13:55 ～ 14:15

『ある製薬研究員のキャリアを紹介します』
修士から製薬会社に就職、リストラや転職も経験した、私の創薬研究員としての17年のキャリアを紹介します。

4) 板東 貴治氏 株式会社JSOL 14:15 ～ 14:35

『3年』
「3年」。このキーワードをもとに、ビジネスのあり方、進んできた道をお話させていただきます。

休 憩 (20分) 14:35～14:55

2 フリーディスカッション 南部陽一郎ホール 14:55 ～ 15:55

3 交流会 ～ゲストスピーカーを囲んで～ 交流サロン 16:00 ～ 17:00
※どなたでもご自由にご参加ください。

本ワークショップについてご意見をお聞かせください。
下記QRコードよりアンケートフォームに直接入力いただけます。
(配布のアンケート用紙でも回答可)



回答受付期間：平成29年11月11日（土）～11月20日（月）

知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム
責任者 篠原 厚（理学研究科 教授）
問い合わせ先：理学部プロジェクト事務局 noudousei@sci.osaka-u.ac.jp